

テンパイ宣言をすることも出来ない

③ 供託（罰符1,000点）

1) カラポン、カラチー、カラカンは、1,000点を供託し、ゲームは続行する。

※出来ないのに、誤って発声すること、あるいは発声したが実行しないこと
（同巡内は、ポン、チー、カン、ロンはできない）

5. カン関係

1) カンドラあり

2) カンドラの表示は、即めくる（嶺上開花の場合もドラは乗る）

3) リーチ後のアンカンOK

ただし、待ち牌、待ちの形、アガリの形が変わってしまうアンカンはしてはならない
したときは、チョンボ

4) ミンカンしてリンシャンカイホウで上がったとき、ミンカンをさせた人の一利払い

5) リーチ後はミンカンは出来ない

6) カン振りなし（カンをした直後の打牌がロンのとき、1 翻加算することはしない）

7) 親が14枚の配牌時、カンをして嶺上開花でツモ上がりした場合、役萬ではない

6. 連チャン

1) 親がノーテンなら親流れで、オーラスならゲーム終了（供託はトップ取り）

2) ノーテンは場に3000点、連チャンは一本場につき300点

7. 終局関係

1) メンゼンのときは形式テンパイOK（無役だがテンパイの形になっているとき）

2) 喰っているときは形式テンパイは認められない

3) 上がり牌が全部出切っている場合はノーテン扱い

4) 親がノーテンなら オーラスでも親流れで終局、（供託リーチ棒はトップ取り）

※リーチ棒があるときは、リーチ者に返すことはせず、トップの人のものとする